



のっぽの手

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル
 TEL 024(528)1211 FAX 024(528)1218
 E-mail center@f-npo.jp
 URL <http://www.f-npo.jp/>

フーテンの寅とタコ社長、チャップリンと淀川長治が生涯の目標



「おにいさん、御倉（みくら）邸って、どう行ったらいいの？」

「あのう、お客様。それは御倉（おぐら）邸とお読みするんですよ、御倉町（オグラチョウ）にある旧日銀支店長宅ですのよ」

「えーっ、そんなこと言ったって、県外から来た人、読めるはずないだろう、まったく福島は不親切だな」

「申し訳ございません。そうですよね、ルビ振っても…」

「それより、これ（杉妻）はスギツマなの、スギノメなの」

「あっ、そうですねえ、杉妻会館はスギツマだし、杉妻小学校はスギノメだよな。そうですね、お客様。それは、両方の読み方、正しいと思いますよ」

「まったく、適当だな、観光課のくせして。だから、おめえんとこの県から、ああいう知事が出るんだよ」

「どうも、申し訳ございません。知事になり代わりまして、お詫び申し上げます」

「もっ、いいよ」

その後、インターネットですぎのめのいわれを調べ、郷土史に詳しい方に「王者杉」伝説や到岸寺との関わりについて学び、この次に備えることとした。

縁あってNPOネットワークセンター「ふくしま情報ステーション」所長となった私の仕事は、こうして始まりました。

なによりも人が好きで（もちろん女性だけでなく）喜んでもらうことが好き、それだけで30年ドブ板金融機関営業をやってきたフラットタイプの男です。前任半田理事と私、どちらがどっちとはいえませんが、ちょうどフーテンの寅とタコ社長、そしてチャップリンと淀川長治を生涯の目標とする私です。

これから3年間、楽しく元気な小宇宙を構築したいと考えていますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

ふくしま情報ステーション所長 武藤 進

第40回NPO研究会 認定NPO法人制度の要件緩和について

11月28日のNPO研究会は仙台国税局 法人課税課審査企画係 高橋祥子氏を講師にお迎えし、「認証NPO法人制度の要件緩和について」お話を頂戴しました。

—————以下、講習より—————

- ・認定NPO法人への寄附は、個人や法人の確申告の際に税金が安くなるというメリットがあります。また認定を受けたNPO法人自身は、今まで以上に寄附が集めやすくなります。
- ・今年から、パブリック・サポート・テストの計算では、寄附金には「会費」や「国や県からの

補助金」を含めて計算することができるようになりました。過去2年間の寄附金等の合計が、2年間の収入の2割以上にはなっていませんか？

- ・そのほかの要件や、認定NPO法人制度について詳しくお知りになりたい方は下記までお問合せください。

仙台国税局法人課税課
 審査企画係
 022-263-1111
 （内線3309）



センターの歴史と現状をじっくり理事研修会を開催（10.21）



佐藤副理事長の報告をもとに本センターの歩みを概観しながら今後の課題を議論しました。2000年に発足してからはしばらくはボランティア依存期でしたが、03年以降、県や市から事業委託を受けるようになって経営的な基礎固めができ、新しい段階に入りました。しかしそれに即応できるような組織がきちんと確立しておらず、それを整備していくべき時期に、不祥事が発生したわけです。スタッフから見ればセンター理事会は雇用主なわけですが、雇用主＝経営者としての役割を十分に果たすにはまだ弱体です。

経営面でレベルの高い理事会を作ることが最大の課題だといえるでしょう。

またセンターの成り立ちを回顧すると、学者を中心とした「ふくしま地域づくりの会」と実際のNPOという、2つの異なるエネルギーが合体したところに本センターは誕生したと見ることができます。それだけに、なぜNPOを育てねばならないのか、どうしてもNPOが必要なんだという、理念のところで、絶えず議論をしていく必要があります。

企業や社会から、NPOを育てたいという気持ちを引き出すことも大切です。情報ステーションにこのところ企業関係者がよく立ち寄ります。情報の集まる場所には強みがあります。そういった面でも、新しい展開が期待できるかもしれません。

（ふくしまNPOネットワークセンター
理事長 清水 修二）

ふくしまスカイアグリ（りんご祭り）に参加して

10月28日、29日の両日にスカイパークで行われました“ふくしまスカイアグリ”の催しにスペースの一部をお借りしまして当ふくしまNPOネットワークセンターのPRを行いました。内容はパネルの掲示と関係パンフレットを並べたつつましい状態ですが、その中では情報ステーションから提供されました“まちなかイベントカレンダー”がダントツの人気でした。

この催しは県北NPOネットが主催し福島市が共催の市民活動フェスティバルの延長で今年で4年目になります。

今年は主催がNPO法人ふくしま飛行協会、共催が県北NPOネット、福島市と変わりました。昨年までは市内の街中広場を使って行われていましたが、今年は郊外の広いスカイパークに会場を移して行われました。両日ともに天候は秋晴れの青空、快晴で、市内から距離も離れていましたが沢山の人が出がありました。

10ほどのNPO、ボランティア団体の紹介展示、20を超える農産物、食べ物等の販売のお店、さらにストラックテージが設けられ、いろんな演奏会、ショー、NPO法人ふくしま飛行協会が、セスナ機を使ったスカイダイビング、アクロバット飛行、防災ヘリ、県警ヘリのデモ等と盛り沢山の内容でした。特に農産物関係の販売のお店には沢山の人が覗き込み、買い物をしてい

まして、ミス・ピーチの方もりんごの販売の宣伝にと忙しい様子でした。

場所が郊外の山の上ですので、天候が一番の心配ごとであったかと思いますが、幸いにも天候に恵まれて、土、日の休日でもあり沢山の市民の方が訪れて大成功であったと思います。当然、車でお出でになるわけですから、駐車場の誘導、整理には関係者がボランティアで大汗を掻いておりました。関係者の皆様ご苦勞様でした。

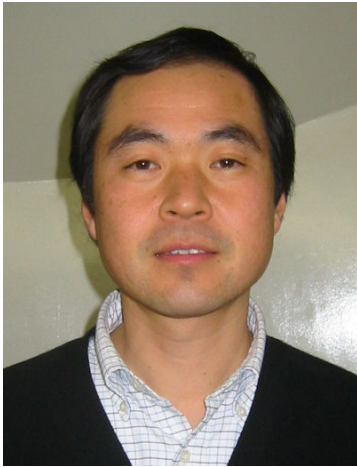
街の活性化が近年の話題の一つですが、場所、内容等の検討は必要ですが、このような市民が気軽に参加できる催しを小まめに行っていくことも一つ方策だと考えます。さらに、関係者によって反省会（評価を行う）が行われれば、なおのことよろしいと思います。

（齋藤 健）



新理事の自己紹介

町内会とNPOの関係などに興味 福島大学人間発達学類 まきた みのる 牧田 実



私の専門は社会学であり、住民自治の観点から地域住民組織やコミュニティの調査に関わってきました。NPOをはじめとするボランティア・市民活動団体と地域住民組織の担い手層は、関心や気質が微妙に異なり、これまで互いに無関心を装ったり、ときには対立することもあったようです。しかし私は、コミュニティ・レベルの「公共性」を担う主体として両者は等しく重要であり、今後は両者の連携がますます重要になると考えています。

とはいえ私は、これまで能力的な限界から(たんなる出不精?)、NPOなどの活動にはあまり関わってきませんでした。それが今回いきなり「理事」ですから、いささか荷が重い気がしていることも事実です。けれど、せっかくの機会ですから、これからいろいろ勉強し、与えられた責任を果たしていきたいと思えます。

「之を楽しむ者に如かず」——ボランティアはこれにつきますようです。

NPO会計講座、3会場にて開催しました

平成18年度NPOスキルアップ講座「現金出納帳からのNPO会計講座」(講師 早川 哲郎顧問)を、会津、いわき、郡山会場にてそれぞれ3日間づつ開催いたしました。みなさん非常に熱心で、特に3日目の会計ソフトを使用したパソコン実習では実務に即した質疑が多く寄せられました。

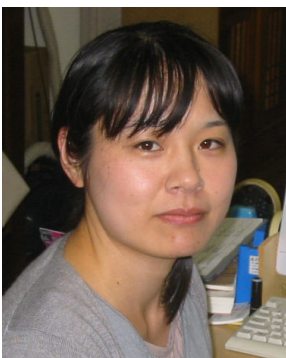
今回は各会場とも定員20名だったのですが、たくさんの申し込みを頂戴し、違う会場に足を運ばれた方、残念ながら受講できない方もいらっしゃいました。

2月に「福島市市民活動サポートセンター」主催で同講師による「NPO会計講座」



があるのでそちらも是非、ご利用ください。
(渡辺)

事務局 新スタッフ紹介



かくた さちこ
角田 佐知子

10月からセンターで働かせていただくことになりました、角田です。「NPO」については、まだ詳しくはわからない状態です。勉強不足ですが、早く仕事に慣れ、がんばっていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。



わたなべ たくや
渡辺 卓也

5月より市民活動サポートセンターでお世話になっていましたが、10月より事務局へ移動して参りました。新人?ですので、いろいろご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

市民活動サポートセンター

2007年1～2月行事予定

①市民活動ステップアップ講座(4回)

- 1月12日(金) 18:30～20:30 団体運営(マブ' M) 編
「円滑に活動を継続させるために、事務局がなすべきこと、整えておくもの」
- 1月19日(金) 18:30～20:30 会計編
「市民活動団体に伝えたい、やさしい会計のすすめ」
- 1月27日(土) 13:00～18:00 広報編
「制作を通しながら、市民活動の広報力を深く考えよう」
- 2月 2日(金) 18:30～20:30 特別編(広報の応用編)
「思いが伝わるプレゼンテーションの、基本」

②NPOマネジメント講座(4回)

- 1月13日(土) 13:30～16:30 事務局の役割と運営のコツ
- 1月20日(土) 13:30～16:30 活動計画を支える企画力
- 2月 3日(土) 13:30～16:30 組織運営に活かす活動評価
- 2月10日(土) 13:30～16:30 いかに資金を集めるか

③NPO会計講座

- 2月 4日(日) 10:00～16:00) 経理初心者向(2回連続)
- 2月11日(日) 10:00～16:00) 経理経験者向(1回)

④ミニシンポジウム

- 2月24日(土) 13:30～17:00 「NPOの明るい未来を話そう」



問い合わせ先 〒960-8004 福島市早稲町 4-16 ラヴィバレー番町3F
TEL 024-526-4533 / E-mail : f-ssc@bz01.plala.or.jp

ふくしまNPOネットワークセンター

第41回NPO研究会

「まちづくり三法の改正とNPOへの期待」

福島商工会議所 中小企業振興部長

本田 政博 (ほんだ まさひろ) 氏

12月19日(火) 18:30～20:00

ウィズ・もとまち (2F小会議室)

問い合わせ先 TEL 024-528-1211

福島学院大学 NPO実習室 無料貸出について

(福島駅前キャンパス 福島市本町2-10)

10名程度の会議などにご利用ください。

利用時間 平日 10時～20時

土曜日 10時～16時

※駐車場はありませんのでご注意ください。

問い合わせ先 TEL 024-528-1211

編集後記



今号から「のっぼの手」編集を担当することになりました。よろしくお願いいたします。

ところで本誌はパソコンで編集しています。皆様も通常の業務でなにかと利用されていると思います。そのパソコンの基本システムとOfficeソフト(ワード、エクセル、パワーポイントなど)が2007年より大幅にバージョンアップします。

(それぞれ Windows Vista、the 2007 Microsoft Office system という名称)

先日、その講習会に参加してきました。操作感ががらりと変わったので馴れるまで大変でしたが、使いやすさは格段に向上しています。パワーポイントもよりスムーズに制作できるので、プレゼンに

際して負担が軽減すると思います。ただし、ある程度(いや、かなり)性能の高いパソコンでないと快適に操作できないので導入には十分注意してください。(渡辺)